

デンマークに学ぶ高齢者福祉フォーラム 2014  
リレートーク

## 個の尊厳において対等に向き合っているデンマーク

デンマーク高齢者福祉の旅  
第7回参加：江口千春

皆さんこんにちは！デンマークに行ってみびっくりする場面がいっぱいありました。私も年金生活者ですが、デンマークでは、自分はペンションナーと言うときの顔つきが違う感じでした。「いっぱい働いて、税金もたくさん納めてこの社会をつくってきた。」だから今「暮らしもサポートされ、自由に日々をエンジョイできるんだ！」と胸を張って嬉しそうに言う感じです。

保育園に行くと園長さんが、「私たちは、子どもに話すのではなく、子どもと話すように心がけています。」とサラッと言うのも印象的でした。人と人の関係は、個の尊厳において対等に向き合いたいということかと思いました。こんなデンマークがあり、強い磁石のような夏代さんとの出会いがあって、「来年は、人育ての現場を見る旅に来たいです。」と言いつつ帰国し、翌年「教育と生活を知る旅」が実現しました。

その後、日本でも学ぼうよ！交流しようよ！という機運から“手をつなごう”みんなが安心できる暮らしネットワークができ、やがて「日本を知る旅」も企画するようになりました。つながりが広がって、奈良に行けば、谷掛医院を見学した後はお寺で仏像に心打たれ、北海道では訓子府菊池町長に町づくりを案内いただくなど最高の体験ができました。夏代さん、ひの社会教育センターの方々、皆さん、ありがとうございました。

私が、今とても気になっているのは、日本の子どもたちが、元気に暮らし楽しく学ぶこ



とができていようかどうかということです。学力テストで教育を比較する流れが当たり前のようになり、成績がいい子も順位を気にし、苦手な子は自信を失い、親も日々成果を競わされることが多く不安をかかえているようです。現場の先生たちの状況も心配です。

デンマークも、グローバルな経済競争の中にあり、経済開発機構の学力テストの影響を受けていますが、橘大の小寺さんたちの視察報告を読んで、教育現場の意欲的な取り組みを知って、また見に行きたくなりました。

日本でも、持続し共生できる暮らしや経済につながる素晴らしい動きが、都会でも地方でも芽生え育っています。ともに学び、試み、発信する動きを広げていきたいですね。どうぞよろしくお願いします。

☆昨年「日本を知る旅」は、福島に行きました。今年は韓国の旅を検討中です。東北の復興、東京の真ん中で若者が運営する「居場所」、瀬戸内海再生なども見たいと思っています。